

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議(第8回)

議 事 概 要

令和6年7月24日(水) 10:00~12:00

於: 国土交通省 8階特別会議室

各委員からの主な意見

- 渡島トンネルについては、今回の長尺ボーリングの結果だけではすべての未掘削区間の地質データを確認することはできないため、長尺ボーリングが届かない区間の地質状況を類推するなど、何らかの評価する方法を検討することも必要ではないか。
- 羊蹄トンネルにおいては、掘削停止の事象が生じ、シールドマシン前方で新たな岩塊が確認されたとのことだが、今後同様の事象が生じる可能性があることから、取り得る策がないか引き続き検討してほしい。
- トンネル掘削工事については、それぞれの工区において、どのような工程遅延リスクを取り込んで、今後の見通しとするのかを議論していくべきではないか。
- 全体工程を考えるに当たり、今後、設備工事についてもしっかりと議論していくべき。
- 今後の見通しについては、検討を深めていき、トンネル掘削の進捗や長尺ボーリングの結果も踏まえて精度を上げながら分かりやすく整理し、関係者の皆様に理解していただくことが重要。